

1 音楽を学ぶねらい

- ・曲想と音楽の構造や背景との関わりや、音楽の多様性について理解できる力を養う。
- ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱や器楽演奏・創作などの活動を通して表現できる力を育てる。
- ・音楽を形づくる要素や要素同士の関連を理解させ、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、理解したことと感受したこととの関わりについて考えたり、どのように表すかについての思いや意図をもったり、音楽を評価しながら、良さや美しさを味わえる力を育てる。
- ・歌唱や器楽の表現、鑑賞や創作の体験を通して、音楽や音楽文化に親しむことのできるよう、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に表現や鑑賞の学習活動に取り組ませる。
- ・音楽の基礎的な表現や知識を身につけることで、多様な音楽や音楽表現の背景としての人間の歴史や文化を考え、総合的に芸術の豊かさを自らの人生に生かせる力を育てる。

2 学習方法

- ・美しい発声のしくみを理解しながら、楽曲に適した音量と音色、表現方法で歌唱し、仲間と協力しながら合唱作りの活動に取り組む。
- ・楽器のしくみや特性を理解し、楽曲に適した音量と音色、表現方法で演奏する。
- ・基礎的な創作活動に取り組む。
- ・楽曲の背景・歴史と曲想の関わりを考えながら、主体的・協働的に音楽を鑑賞する。
- ・音楽を形づくる要素について理解し、楽曲との関連を考える。
- ・楽曲について曲想を感じ取り、根拠をもって評価・批評する。

3 持ち物、忘れものなどについて

●持ち物

教科書、器楽の教科書、合唱曲集、ファイル、楽器、音楽袋など

※教室、音楽室での自分の教材の管理や移動について、責任をもって取り組む。

※提出物は期限内に提出する。教材忘れは貸出を受けて授業に参加する。

4 学習の観点と評価方法

①「知識・技能」

音楽の構造や背景との関り及び音楽の多様性について理解している。

【授業での取り組み(発声・パート練習・全体練習)・発言・ワークシート、実技テスト、定期考査】

②「思考・判断・表現」

音楽を形づくる要素の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもっている。

【授業での取り組み(発声・パート練習・全体練習)・発言・ワークシート、実技テスト、定期考査】

③「主体的に学習に取り組む態度」

音楽や音楽活動に親しみながら、主体的・協働的に、表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【授業での取り組み(発声・パート練習・全体練習)・発言・ワークシート】

5 先生からのアドバイス

- ・授業規律を整える(チャイム着席、教材を揃える、授業に積極的に取り組む)
- ・恥ずかしい気持ちを克服して、自分なりの音楽表現の工夫に積極的に取り組む。
- ・実技のテストなどでは、精一杯、自分なりの音楽表現に挑戦する
- ・提出物は期限厳守。「定期テスト」は授業内容からの出題なので、授業内容を、その都度しっかりノートし、プリント等の資料をファイルに整理しておく。

6 音楽科2年 年間学習計画

学期	月	単元名・学習内容	学習の目標	評価方法
1	4	豊かな響きを作ろう 「明日の空へ」 「翼をください」	・中学生の発声のしくみや響きを理解し、仲間と歌う喜びを分かち合い、主体的協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・ワークシート ・定期考査 ・実技テスト
	5	詩と音楽とのかかわりを理解して、表現を工夫しよう 「夏の思い出」	・歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりや、旋律の音の動き、強弱の変化から旋律のまとまりを理解し、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。	
	6	曲想と音楽の構造との関りを理解して、その魅力を味わおう 「交響曲第5番ハ短調」	・楽曲の形式(ソナタ形式や)音色・旋律テクスチャ・形式などを理解し、それらの働きと曲想との関わりについて自分なりに考えたり感じたりしながら聴き味わっている。	
	7	オーケストラ(管弦楽)に親しむ 鑑賞教室	・色々な楽器の構造や特性を理解し、オーケストラの構成の中でどう生かされているかを考えながら楽曲を聴く。様々な作曲家の作品に親しみ、その背景や作曲家の思いを考えながら聴く。	
2	9	歌詞のメッセージを理解して歌唱表現しよう	・混声3部全体の響きに気をつけながらパートの役割を感じ、歌詞の内容と曲想の関わりを考えて音色・速度・強弱に生かしながら歌唱表現を工夫することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・ワークシート ・定期考査 ・実技テスト
	10	合唱コンクール自由曲	・合唱コンクールへの参加を通して、他学年や他クラスの楽曲の曲想に関心をもって聴いたり、異学年交流などの合唱練習に主体的・協働的に取り組む。	
	11	音の重なりや反復、変化を感じながら曲の構成を味わおう 「フーガ短調」	・楽曲の特徴ある構成とその効果を理解している。また、曲の背景や作曲者の思いや意図と曲想の関りを感じながら聴き味わうことができる。音色・旋律・テクスチャなどを理解して、それらの働きと曲想との関わりについて、自分なりの考えをもって聴くことができる。	
	12	歌詞と旋律が生み出す雰囲気を味わいながら歌おう 「荒城の月」	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌う。	
3	1	歌舞伎の特徴を理解して、その魅力を味わおう 「長唄「勸進帳」から」	<ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ・長唄にふさわしい発声や言葉の特性を理解し、それらを生かしながら表現を工夫して唄う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・ワークシート ・定期考査 ・実技テスト
	2	日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう 箏(こと)を弾いてみよう 「さくら変奏曲」	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な郷土芸能の音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ・箏の特徴やいろいろな奏法を理解し、曲想や音色を味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。 	
	3	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう 「君に伝えたい」	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関りについて理解するとともに。それらを生かした、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して、主体的、協働的に歌唱に取り組む。	